

ぼくのお兄ちゃん

小三

「ちがあうよお。」

ぼくには、一つ上の兄ちゃんがいます。お兄ちゃんには生まれたときからダウンしようというしようがないがあります。

お兄ちゃんには、みんなよりも苦手なことがあります。

一つ目は、おしゃべりです。つたえたいことがあるのに、言葉がうまく出せなくて、相手につたわらないことがあります。ぼくなら言いたいことが相手につたわらないとイララしてしまうけれど、そんなときお兄ちゃんは、えがおで、

と言つて、体や手を使ってジエスチヤーゲームのようにしてつたえます。一生けん命なお兄ちゃんを見ていると、言いたいことがつたわつてきます。言葉がつたわると、「そうつ。」とすごくうれしそうな顔を見せます。

ぼくにとつて会話をすることは、当たり前のことだけれど、お兄ちゃんにとつては、とてもむずかしいことなんだと思います。がんばり屋のお兄ちゃんはすてきだなと思います。二つ目は、苦手な場所や音がたくさんあることです。はじめて行く場所や人の多い場所、暗い場所がとても苦手です。こわくて走つてにげ出

してしまうこともあります。おいかけるのがたいへんです。

大きな音も苦手です。大きなきかん車のＳＬの音や花火の音もこわくて、近くで見ることができません。そんなとき、お兄ちゃんはイヤーマフというヘッドホンみたいなものを耳につけます。ぼくもお兄ちゃんのイヤーマフをかりて使つてみたことがあります。にぎやかな音がまほうがあります。にぎやかな音がまほうみたいに消えて、しづかになります。すごいなと思います。だから、イヤーマフをつけるとお兄ちゃんは、安心していられるんだと思います。大きな音が苦手な人がいたら、使つてみるといいよと教えたいです。三つ目は、苦手なことではないけ

れど、まわりの人より身長が少しひくいところです。ぼくは、それがとてもかわいいなと思います。ときどき、ぼくの方が身長が高いことに気づいて、「ぼくの方がお兄ちゃんみたいだな。」と思つておもしろくなります。でも、お兄ちゃんは、やつぱりぼくのお兄ちゃんで、ぼくのことを助けてくれることもあります。だから、ぼくたち兄弟は、おたがいにささえ合つているんだと思います。お兄ちゃんはダウンしようで苦手なこともあるけれど、ぼくにとつては、ふつうのお兄ちゃんです。けんかもするし、なかよくいっしょに遊びます。ダウンしようかどうかはかんけいなく、ぼくのお兄ちゃんは、か

ぼくたち家族にとつて、とても大切
でスペシャルなそんざいなのです。